

さらに向こうへ

Plus Ultra

西浦上みらい会議

日時：令和7年3月16日(日)

9:30～12:00

場所：長崎市北公民館 視聴覚室

参加者数：72名

第2回

実施

報告書

西浦上小学校区では、まちの未来を描いた「まちづくり計画」をつくるために必要なアイデアを集める場として、「さらに向こうへ Plus Ultra（プルス・ウルトラ）西浦上みらい会議」の2回目を3月16日（日）に開催しました！

地域の皆さんと一緒に西浦上小学校区のことについて語り合い、まちづくり計画が完成したら、理想の将来像に近づかせるため、西浦上小学校区コミュニティ連絡協議会を設立して、「地域のまちづくり」を住民が協力して進めることを目指しています。今回は、小・中学生や高校生の参加も多く、たくさんの方にお集まりいただき開催できましたので、当日の様子をお知らせします。

## 1 オープニング

はじめに、西浦上小学校区コミュニティ連絡協議会設立準備委員会の今泉委員長から、「西浦上小学校区の未来のために、さまざまな世代の方から意見をいただきたい」と挨拶がありました。

## 2 前回のみらい会議で出た意見の確認

前回、令和6年11月4日に開催した「第1回さらに向こうへ Plus Ultra（プルス・ウルトラ）西浦上みらい会議」では、「西浦上小学校区に暮らしていて、感じることにについて話そう！」というテーマで話し合いました。そこで出たよい点や気になる点など多数の意見をまとめた意見集を見ながらみんなで確認しました。

## 3 グループに分かれて話し合い

11のグループに分かれて、「地域活動（自治会等）」、「子ども・子育て」、「福祉（高齢者福祉）」の3つの分野の「将来像」「私たちにできること」について話し合いを行い、話し合った内容を模造紙にまとめて発表しました。その一部を右のページでご紹介します。

地域活動  
(自治会等)

子ども・子育て

福祉  
(高齢者福祉)

★参加者の意見★

※意見は一部抜粋です。

第2回みらい会議の意見集はコチラから！⇒

| 分野         | 分野の将来像                               | 問題点・課題                           | それを解決するために私たちにできること                                  |
|------------|--------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------|
| 地域活動（自治会等） | 多くの世代が関わりあいながら活気を作るまち西浦上             | 自治会の輪に入れない（何をしているかわからない）         | ご近所づきあいがなくなった。人となりを知らない→あいさつ・ゴミを集める活動                |
|            | 若い世代のチームを立ち上げる→主体となれる組織              | 自治会の認知度が低い（子どもは大人が何をしているかわからない）  | 子どもたちが、どこの子かわからなくなってきたる⇔あいさつ                         |
|            | 魅力ある人材を育てられる地域                       |                                  | 幅広い世代を巻き込む                                           |
|            | 自治会同士が助け合うまち                         |                                  | 地域と学校のつながり                                           |
|            | きずなが強い地域                             |                                  | 若者受けする出店を出す                                          |
|            | 多世代集まる場がある地域                         |                                  | 敷居を低くする                                              |
|            | 学生が他人事にならないように活動                     |                                  | イノシシ対策を協力してできる体制→自治会同士の助け合い                          |
| 子ども・子育て    | 子どもも親（子育て世代）も一緒になって参加できる居場所作り        | 子どもの数が減っている                      | 子どもだけでなく親もつながれる場所・環境づくり。知ってもらうことが大事                  |
|            | 友達同士で参加できるイベントがある                    | 空き家問題                            | 遊具の整備が必要                                             |
|            | 周りが声を掛けてくれる、気を掛けてくれるまちになってほしい        | 地域の人と子どもの関係（つながり）が少ない            | パトロールを増やす←負担が少なく、楽しいパトロール。ただ若者が減る中で高齢者がするのは大変…？      |
|            | 「子どもの元気な声」が聞こえるまちづくり                 | 長崎で子育て→就職したいと思えるまちでない            | 子どものためにやっている活動をまずは地域に住む子どもに知っていただく（そこからつながりを作る）      |
|            | 伝統（食）を継承                             | 子どもが遊べる児童館がない                    | 今回のワークショップのように直接子どもの意見を聞ける場を開催する（自治会であってほしい活動などを聞ける） |
|            | 平和活動に力を入れる                           | 他校間との交流→知り合いが増える→地区に限られるので周知が難しい | 障がいをお持ちの方も参加してほしい                                    |
| 福祉（高齢者福祉）  | 高齢者に若者がよりそうまちづくり                     | 高齢者だけで住んでいる人が多い（核家族化）            | 老人ホームに子どもたちが訪問して交流の場づくり                              |
|            | 子どもと高齢者がふれあいお互いが元気になる西浦上             | 子どもと高齢者がふれあう機会がない←もつとふれあう機会が欲しい！ | 若者・高齢者の交流                                            |
|            | 老いも若きも助け合い、支えあえるまち～日常の細かいことも相談できるまち  | 避難所の確定・情報共有                      | 健康寿命を維持するための企画をする                                    |
|            | コミュニケーションがしっかり出来る地域                  | 民生委員の赤ちゃん訪問がなくなった                | おじいちゃん、おばあちゃんとの交流→安心できる                              |
|            | 子どもの元気な声がたくさんあり、子どもから大人まで交流がたくさんあるまち | 介入を嫌がる人もいる。集まりに参加しない人もいる         | グラウンドゴルフに子どもも参加                                      |
|            | 30～40代がもっと地域に出る                      | バスの便を調整（時間帯によって）                 | 老人会に若い人に来てもらう                                        |

## 4 ふりかえり

最後に「今回参加してどうだった？」の感想を、紙に書き、発表しました。

《主な意見》

- ・若い人が期待以上に僕らのことを考えてくれて明るい未来のきざしを感じた。
- ・めちゃくちゃはっぴょうできてうれしかった。またでたい。

## 5 クロージング

竹林副委員長より閉会挨拶のあと、恒例の「西浦上～」「Plus Ultra（プルス・ウルトラ～!）」の掛け声をおこなって閉会しました。